

議会だより



中津佐町

No.56

令和2年2月7日発行

12月定例会

■防災情報伝達方式見直し 2

■教育長に要望書提出 4

■6人が一般質問 5

キンメダイの水揚げをする池田学さん (P20参照)

今回の主な内容

●令和元年12月定例会

議案審議	2
一般質問	5
委員会活動報告	12
行政報告	13
主な議案と議員の賛否	14

●議員の活動状況	16
●追跡・声	19
●地域で頑張る移住者たち	20

防災情報の伝達方式を見直し

事業費6億1600万円を予算化

令和元年 中土佐町議会

12月定例会

案議
議審

令和元年12月定例会が、12月20日から26日までの7日間の日程で行われました。今回の定例会は町長が病氣療養で欠席したため、職務代理者の副町長から議案などが提出されました。

開会日の20日には、議案の提案理由説明、委員会の活動報告などが行われました。

23日は一般質問（P5から関連記事）が行われ、6人の議員が町の課題を執行部に問いました。

26日には議案の審議が行われ、提出された専決処分1件を承認、議案9件を可決、そして、濱田貴代さんの教育委員再任に同意しました。また大坂橋改修の陳情（P3参照）を採択、図書機能充実を要望する決議（P4参照）などを可決し閉会しました。

職務代理者

普通地方公共団体の長が病氣や長期出張などで職務ができないときや退職した場合などに、長の職務を代理する者。

一般会計補正予算

「中土佐町一般会計補正予算第4号」は、防災情報伝達システム整備工事費6億1600万円など6億8989万円が追加され、一般会計予算総額が104億9726万円となった。

審議では、時間外手当の増加や各種事業の説明を求める質疑があった。討論はなく採決の結果、全会一致で可決された。防災情報伝達システムは、既存の防災行政無線の老朽化と国からデジタル化への変換を求められたため整備されるものだ。来年度中に完成の予定で、新しい個別受信機が各戸に配布される。



役場庁舎移転に合わせて防災行政無線が新システムに（写真は現在の防災行政無線）





改修の陳情が採択となった大坂橋

この陳情は、大坂橋は老朽化のため早期の改修と、浸水被害を防ぐため大坂谷川に堆積している土砂やヨシなどの除去を求めたものです。110人の署名が添えられました。

大坂橋は点検で構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずるべき状態とされるⅢ判定区分（表参照）となっています。産業建設常任委員会が審議した結果、「採択すべきもの」と報告がありました。

これを受け、本会議で採決した結果、全会一致で「採択」と決定しました。

大坂橋の早期改修 大坂谷川の土砂等の除去 を求める陳情を「採択」

表 道路橋定期点検判定区分

区 分		状 態
I	健 全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じている可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障を生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態



コンクリートが剥がれ落ち、鉄筋がむき出しになった大坂橋の下面（左）と橋脚（下）



住宅近くまで土砂が堆積し、ヨシなどが生い茂った大坂谷川の河岸



教育長に要望書を提出

図書機能充実を要望する決議を可決



岡村教育長（右）に要望書を手渡す中城議長と佐竹教育民生常任委員長

「教育長に対し図書機能の充実を求める要望をすることの決議（案）」は、教育民生常任委員会から提出され、本会議で審議した結果、全会一致で可決されました。

決議は、本町の図書室は、開館時間や図書専門職員の確保など、町民ニーズに十分に抑えているとは言えないため、教育長に対し、6項目の要望をするものです。

図書機能の充実を求める要望書（要旨）

人として育てていくためには読書が重要な要素を占める。町として人材育成の明確なビジョンの下に図書機能の充実が図られることが必要である。

今はインターネットで知りたい情報は身近に収集や検索が可能であり、図書室（館）は、いかに「本に興味を向けさせるか」「来てもらうか」という仕掛けがある。お茶やコーヒーを自由に飲みながら歓談や読書が楽しめるなど、井戸端会議的に気軽に使える施設の発想も必要である。

役割を「人づくり」とし、公民館や地域コミュニティの機能も併せ持ち、次世代の人づくりという方針に沿って運営されている図書館もある。また、利用者のニーズに応えるべく運営するなど、図書館は「知の拠点」であり、蔵書を活用したイベントや催し物など様々な企画を手掛けているところもある。

図書室（館）は、安易に民間に委ねることなく、地方公共団体としてその運営方針を明確化するとともに、人づくりの場として、本来の理念に基づいた運営が求められる。図書機能の明確なビジョンの下に、人づくりの施設としての機能拡充に取り組んでいただくことを期待したい。図書は、人の役に立ってこそ存在意義があるものである。

以上の視点に立ち、図書室から図書館への移行も含め図書機能の充実を図るよう下記の要望を行うものである。

記

1. 町民の意見を反映させるため附属機関を設置し、図書機能の充実に向けた考え方を明確化すること
2. 憩い機能、癒やし、コミュニティの場といった図書機能の充実を図ること
3. 町民の利便性を考慮し、利用者のニーズに合致した開設時間とすること
4. 図書職員の待遇改善を図り、マンパワーの確保に努めること
5. 効率的・効果的な利用システム構築に向け、収蔵書のデータベース化を図ること
6. 将来収集が困難と思われる収蔵書の被害防止に万全を期すること

6人の議員が質問



12月23日一般質問が行われ、6人の議員が高知ミットヨの町外移転や避難訓練の在り方、上ノ加江公民館の機能、大野見保育所建て替えなど町の諸問題を取り上げました。今回の一般質問は、町長不在のため質問者が少なく、1日で終了しました。



下元 道夫……P6

- 漁船への給水設備を
- 避難訓練参加者は



本井 康介……P7

- 耐震バースの延長を
- 文化芸術・スポーツ活動は



高橋 雄造……P8

- 高知ミットヨ移転は



山本 建生……P9

- 非正規職員の処遇は
- 町有ハウスの地代未払い



窪田 和教……P10

- まきで稼ぐシステムを
- 大野見保育所の現地での建て替えは



佐竹 敏彦……P11

- 上ノ加江公民館に地域づくりの機能を
- 忠魂墓地の管理を

一般質問 ～町政を問う～

※一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、町長などに対し疑問点をだし、所信の表明を求めるものです。



下 泉 道 央

漁船への給水設備を

良い方法を見いだしたい

問 小型カツオ漁船への冷蔵用の水の給水は、現在の水道では大変な時間がかかる。このため、給水設備の設置を求める声が

大きく上がっている。また燃料費の高騰が続いており、黒潮町では燃料費1割の補助を行っている。検討を求める。

竹邑水産商工課長 水道の引き込みは良い方策を見いだしていきたい。
燃料の補助は、情報入手し、必要な支援をしたい。



1月14日に久礼漁協に水揚げされた3トンのカツオ

鰹乃國水産は

問 鰹乃國水産の売り上げは、平成28年度から1千万円以上あった。一般公募の後には103万円で減少している。スラリアイスの稼働率も低く、「びんぴカツオ」「上々カツオ」の生産も行われていない。
新たな商品開発、販路

拡大の補助金350万円の事業の進捗状況は。

竹邑水産商工課長 鰹乃國水産は、新しい使用者に運営を任せていて大きく落ち込んだ。

商品開発はまだ一つだ。販路拡大、商談会も去年から落ち込むことは確かである。

問 スラリアイスの製造施設を造ったのは、漁業者の所得を上げていくためだ。その拠点施設として鰹乃國水産をつくった経過がある。現在もその考えに変わりはないか。

竹邑水産商工課長 鰹乃國水産は漁業者支援のため、スラリアイスを活用した高鮮度のカツオに付加価値を付け、外商していく考えに変わりはない。

避難訓練参加者は

減少し、やり方を検討

問 今年の避難訓練参加者は22・7割だ。避難時に手ぶらの方が大半だ。災害関連死（避難所などでの死亡）をなくすための準備は。

地産外商マネージャーは

問 地産外商マネージャーの就任から令和元年までの商談額は。

竹邑水産商工課長 地産外商の実績はない。



城山団地に避難した町民の皆さん（久礼）

耐震バースの延長を

県と連携しながら

問久礼新港の耐震バースは現在施工中だ。港の形状を見たとき、波が一番先が上がってくるのは、現在計画に入っていない部分だ。耐震バースの延長をすべきでは。このままでは二次防災拠点港として機能できるのか。

問11月4日の避難訓練で、町民からの声や意見要望は。

平田総務課長 今後の避難訓練の在り方を考える時

鍋嶋建設課長 今後の須崎港の整備状況や、広域的な防災計画の動向を見つ、久礼港における必要な岸壁延長の検証を県と連携しながら考える。



本井 康介



久礼新港の耐震バース化の工事

期であるとの観点から、独自のアンケートを行い、大変重要な意見をいただいた。「避難だけで訓練が終わっているところがある」「雨天中止としていることや、事前に時刻を通知しており、災害に対する条件設定が甘い」「現実に即した訓練になっているのか」という指摘があった。今後、防災意識の向上に向け、今回の意見を防災訓練のみならず、防災事業に役立てたい。

文化芸術・スポーツ活動は

人口減の中、一定の評価

問本町の文化芸術、そしてスポーツ活動の現状は。

岡村教育長 中土佐町総合美術展覧会で、作品展示と表彰を行っている。文化発表会では、フォークダンス・民謡・日本舞踊などの発表がある。源流太鼓・浜千鳥・両栄太鼓の活動を支援している。スポーツ活動は22クラブ計220人の登録があ

る。学校の体育館・大野グラウンド・久礼保育所・テニスコートなどで活動している。現状が必ずしも十分であるとは言えないが、少子高齢化が進み高齢化率45%を超え、人口減の中で一定の評価はできる。



体育はじめ



「体育はじめ」に集まった町民の皆さん（1月2日）

新高知県知事への期待は

問濱田省司新高知県知事に対し、期待も含め所見は。

三本職務代理者副町長 政策も継続・発展させると言っている。大いに期待している。



高橋 雄造

高知ミットヨ移転は

従業員支援を会社に

要で、今の大野見工場の場所では無理であるとの説明を受けた。

問 町として、どのような対応をとられたか。

問 高知ミットヨの工場移転の概要説明を受けたが、設立当時から現在までの経緯は。

竹邑水産商工課長 当時の村長ほか有志の出資により会社が設立され、昭和48年2月に操業を開始した。昭和51年に高知ミットヨに譲渡している。

問 工場移転は、いつ、どこから、どのような説明があったか。

竹邑水産商工課長 町長が平成31年1月本社を訪問した。社長から生産量をも高める必要性があり、そのためには「空港に近いこと」「2ヘクタール以上の用地」「継続した安定した雇用が充足できる場所」が必



町の産業に多大な貢献をしている(株)高知ミットヨ大野見工場

三本職務代理者副町長 町長が幾度となく本社に向き話をしてきた。

竹邑水産商工課長 大野見工場の増設の計画案があり、県とともに支援や手続きなどを会社と協議してきた。計画図案も描き町内に残っていたため、結果的に会社側から正式に移転の説明を受けた。

問 町としての考えは。

三本職務代理者副町長 今まで工場の存続を訴え良好な関係を築いてきた。工場の撤退決定は、企業戦略の方針と聞く。移転する場合は、今の従業員への通勤手当を含め、支援を会社に求めている。会社側からは、できる限り応えたいとの返事をもらっている。



多くの町民が働く(株)高知ミットヨ大野見工場の内部



山本 建生

問 役場は半分の職員が非正規職員で果たす役割は大きい。
会計年度任用職員制度は、非正規職員の処遇改善になり、一定の評価はしたい。該当する職員は何人か。

非正規職員の処遇は

報酬は職歴によって

会計年度任用職員制度
適正な任用・勤務条件を確保するために今年4月から導入される制度。臨時・嘱託職員などが会計年度任用職員となる。

平田総務課長 当初の募集人員は96人だ。12月1日現在、臨時が94人、嘱託が46人、非常勤が11人、合計151人だ。

問 6197円から6391円と経歴によって報酬に差がある。今まで役場に勤め何年かたっている人もいる。どちらになるか。ボーナスの計算方法は。

平田総務課長 会計年度任用職員は、継続雇用ではなく、4月から新たな雇用だ。以前に役場に勤めている職歴によって報酬が決まる。現在来ていただいている方が採用となれば高い額となる。

ボーナスは、任期6カ月以上で勤務時間週15時間30分以上の職員で、在



臨時や嘱託職員が多くなっている役場

職期間に応じ、6月と12月にそれぞれ最高で1・3カ月分になる。

問 公務員の場合は、年に一回見直しがある。6391円は上限か。

平田総務課長 今回の制度は職員の給料表に当てはめるので、上がった場合には当然上がっていく。

町有ハウスの地代未払い

地権者と利用者の契約

問 萩原ハウス団地の、ある地権者は利用者からの地代の未払いがあり1年を過ぎている。未払いになっている人はどれくらいいるか。
ハウスの所有者は。

西田農林課長 2棟のハウスを利用して1人の利用者が、地権者6人に未払いになっている。
ハウスは町の施設である。

問 利用されてないハウスがあるが、どうなるか。

西田農林課長 ハウスの利用がなくなった場合、1年間は前の利用者が地代を払う取り決めがある。それに沿って対応していく。

問 実際はお金を払わんまま帰っている。現実には（徴収が）困難と思うが。



町が整備したが、契約は地権者と利用者となっている萩原ハウス団地

三本職務代理者副町長 地権者とハウス利用者の直接契約となっており、町が積極的に関われないが、担当課と協議していきたい。



窪田 和 教

まきで稼ぐシステムを 収入を得る仕組みを検討

なるし、切り捨てられた材を使うことは防災面からも効果的だ。

西田農林課長 まきの生産者と利用者のマッチングの機会を設けるなど、里山から収入を得る仕組みづくりを検討する。

岡村教育長 インターネットでまきの販売をしている人は、

生産と販売のシステムができれば販路は広がるのではないか。高齢者はまきをつくるノウハウを持っている。問題意識を持つて情報収集をしてほしい。

西田農林課長 まきの生産などに活用できる国の補助事業があり、さらなる活用を図る。



まき割り作業と販売用に積み上げられたまき
(木の駅ひだか)



大野見保育所 現地での建て替えは

二者択一なら当然可能

岡村教育長 大野見保育所は今の場所での建て替えを望む声が多い。現在地で建て替えはできないか。

考え、作り上げる場になくはない。

岡村教育長 可能か不可能かという二者択一なら当然可能だが、仮の施設がある。

岡村教育長 (建て替えは) 保護者だけでなく地域の人の意見をどう集約するのか。

岡村教育長 地区懇談会などで説明し意見を聞くことは大事と考えている。今はそこまで話が進んでいない。

岡村教育長 教育委員会から「保小中一貫校」の提起があった。この機会に大野見の教育の在り方と学校教育の在り方を住民と一緒に

岡村教育長 保小中一貫校が大野見に学校を残すために一番いいだろうとの発想だ。

その他の質問

▼教育委員会・総合教育会議の会議と議事録の公開は



保小中一貫校の計画がある大野見小学校（手前）と中学校（奥側）

上ノ加江公民館 地域づくりの機能を

人員配置等町長と相談

公民館に地域づくりの機能を持つところが多くなった。通称「やねだん」の鹿屋市の柳本自治公民館は、営利事業も行っている。地域振興に取り組み、地方創生を地で行っている。

行政懇談会でも、上ノ加江の衰退を憂い、中学校裏山の高台造成やグラウンドの総合運動場化などの提案もあった。

中学校休校問題も、問題となる以前に、膝を交えて話し合ってもらったかったとの声もある。



佐竹敏彦



完成後の機能充実の声がある新上ノ加江公民館の基礎工事

地域振興に、いろいろ役立てる公民館にするよう協議の場を求めている。

岡村教育長 人員配置を含めた公民館機能は町長と

相談したい。

上ノ加江中の休校問題は、平成30年5月からPTA役員など18回以上協議した。学校存続をしてほしいとの声もあり、全面的賛成ではないが、最終的に仕方ないと理解された。令和2年度末で休校する。

スクールバス等の交通手段導入に伴う課題への対応など着実にやっていく。

忠魂墓地の管理を

取り組み事例を調査して

問 忠魂墓地の管理が行き届かない。

多田町民環境課長 高齢化で維持管理が難しくなっていることは把握している。現状では、法的な制限もあり、行政主体での維持管理等は難しい。本町だけの問題ではなく、関係団体や他自治体等での取り組み事例を調査したい。

問 祭られている人は、旭日旗の下に世界の民族の自由と独立を勝ち取った



管理が難しくなってきた上ノ加江の忠魂墓地

岡村教育長 町民環境課長が答弁したとおりだ。

戦いに従事した人類史に輝く功績を与えた方々だ。今あるのはこの人たちのおかげで、維持するのは私たちの責務だ。

県議会でも、知事は地域によっては管理が困難で将来にわたる保存や継承の在り方を検討と回答した。県の部長も、国の補助金活用など具体的対策を図ると答弁した。

戦争の史跡としての整備も必要では。

計画を上回る災害には

問 今年の台風で、電源喪失という事態もあった。近年、気候変動で従来の計画を上回る災害が起きているが、防災対策は。

平田総務課長 慎重な判断の下に事前に避難できるタイミングで、避難情報を発令している。

避難所運営マニュアルができた所から、簡易ベッド・マット・間仕切り・扇風機等を整備する。電源も非常用電源に加え、発電機やモバイルバッテリー（携帯充電器）を順次整備していく。

その他の質問

- ▼ ラグビー精神に見る日本の心
- ▼ 地域別人口推計と産業育成
- ▼ 不耕作の田の活用
- ▼ 維新の志士南部甕男

委員会活動報告

12月定例会の初日、総務・産業建設・教育民生の各常任委員長から議会閉会中の委員会の活動報告がありました。

総務常任委員会 町営住宅入居率89パーセント 町営住宅・入札契約等を調査

割合になっている。現在の入居率は89割で稼働率は十分と考えられる。

入札契約の調査では、過去10年間の1億円以上の契約の資料提出を求めた。委員から基本設計や実施設計のコンサル費用への意見があった。今後入札制度の透明性を高め、より厳正な制度となるよう求めた。



町営住宅の調査をする総務常任委員（大野見萩中11月15日）

産業建設常任委員会

農家戸数減少し高齢化

農業の現状等を調査

大野見庁舎で、農林課より現状と課題の聞き取り調査を行った。また大野見・上ノ加江・久礼の各地区の生産者に話を伺った。主要作物は、水稲261・6畝で戸数は414戸だ。その他、シヨウガ・ニラ・ミョウガ・インゲン・シシトウ・イチゴなどある。農業戸数は大幅に減少し、従事者の高齢化が進んでおり、耕作放棄地も増えている。今後の課題として農業の担い手の確保と育成、鳥獣害対策、耕作放棄地対策などが挙げられた。生産者の皆さんからは、大変厳しい中にある中でも、行政支援を利用しつつ、販路拡大を含め前向きな考え方で取り組んでいる姿が印象に残った。

9月28日に発生した大野見押谷地区の崩落現場



農業の現状と大野見押谷の災害現場を調査する産業建設常任委員（10月29日）

「萬や」が休業

福祉施設等を調査

図書に関する提言書の検討を行い、12月定例会で本会議に諮り執行部に要望書として提案することになった。

福祉施設は、現状を健

康福祉課の出席のもと調査した。現在、飲食店を休業している「萬や」は、体制を整備し早急に再開したいとのことだ。

デイサービスセンター

「のじぎく荘」は高台移転が懸案事項になっているが、旧笹場小への移転の話し合いが続いている。地元の了解が得られれば、4～5年先に実現できるとのことだ。特養大野見荘の介護サービスは職員確保が困難なため支障が生じており体制整備に努めるとのことだった。

←高台移転が検討されているデイサービスセンター「のじぎく荘」



現在休業している→
鯉乃國のめし家
「萬や」



←健康福祉課から状況を聞く
教育民生常任委員

行政報告

12月定例会の行政報告は、町長が病氣療養で欠席したため、副町長から文書で提出されました。

集落活動センター「おおのみきた」が開所



町長職務代理者を務めた
三本副町長

令和2年度予算編成方針

重点施策は、「海の力・山の力・川の力、協働でつくる誇りの持てるまち」を柱とする。

公共施設の移転事業

新庁舎建設工事の進捗率は12月1日現在、21.9%^{しんちよく}だ。高幡消防組合中土佐分署建設工事は、9月に着工し、進捗率は9.5%^{しんちよく}だ。久礼保育所建設工事は、12月3日に起工式を行った。建物の多くの箇所に町産木を活用する予定だ。

台風・豪雨による災害状況

10月の台風18号、19号による被害が発生した。農林被害10件、漁業被害では矢井賀釣りイカダ3基が使用不能となった。

防災対策

11月3日・4日に一斉避難訓練を実施し1,346人が参加した。訓練の後、気象予報士による防災講演会を開催した。

町と社会福祉協議会は、「中土佐町災害ボランティアセンター」の協定を締結した。

住宅耐震工事30件、老朽住宅等除去申請は15件を受け付けた。

大野見北地区振興会、集落活動センター事業

10月1日、「集落活動センターおおのみきた」が町内2カ所目、県内55カ所目の集落活動センターとして開所した。

私は、賛成・反対しました。

《12月定例会の主な議案と議員の賛否》

○・・・賛成 ●・・・反対 /・・・議長

審議した議案等	黒原昭一	山本建生	山下世仁子	岡伊三男	本井康介	松下裕之	下元道夫	佐竹敏彦	窪田和教	高橋雄造	福永守恭	中城重則	可否
専決処分の承認（一般会計補正予算（第3号）） ※災害復旧費3947万円を増額するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
印鑑条例改正 ※上位法の施行に伴い、改正するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
一般職の職員の給与条例改正 ※人事院勧告に準じ、改正するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
会計年度任用職員制度の導入に伴う関係条例整理条例 ※制度導入のため、関係条例を改正するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
災害弔慰金の支給等に関する条例改正 ※上位法の施行に伴い、改正するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営基準を定める条例改正 ※幼児教育・保育の無償化に対応するため、改正するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
一般会計補正予算（第4号） ※P2参照	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
国民健康保険特別会計補正予算（第2号） ※システム改修など291万円を増額するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
介護保険特別会計補正予算（第2号） ※実績に合わせるなど405万円を減額するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
簡易水道事業会計補正予算（第3号） ※配水・給水施設修繕費など446万円を増額するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
教育委員会の委員の任命（濱田貴代さん）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
大坂橋の早期改修並びに大坂谷川の土砂等の除去を求める陳情 ※P3参照	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
教育長に対し図書機能の充実を求める要望をすることの決議 ※P4参照	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議員がどこへでも出張する 議員出張懇談会

10人程度以上の参加が見込める団体やグループで、議員との懇談の希望があれば、町内どこへでも出張いたします。

ご希望がある場合は、お問い合わせください。



議会の様子を スマホやパソコンで

スマートフォンやパソコンで議会の様子が視聴できます。平成28年以降の過去の映像もご覧いただけます。



※データ通信料の契約が定額制（使い放題）でない場合は、高額請求される場合がありますのでご注意ください。

訂正とお詫び

議会だよりNo.55 (P18) の福永議員の大野見荘を取り上げた質問の記事に誤りがありました。訂正するとともに大野見荘の関係者にご利用されている皆さま、また町民の皆さまにお詫び申し上げます。

(誤)

問 特別養護老人ホーム「大野見荘」は入所定員50人、短期入所生活介護(ショートステイ)10人、通所介護(デイサービス)10人の定員で居宅介護支援事業を行っていた。しかし、施設職員の減少のため入所者は41人となった。デイサービスは3月31日に廃止、ショートステイは現在見合わせをしている。現状をどう捉えているか。

(正)

問 特別養護老人ホーム「大野見荘」は入所定員50人、短期入所生活介護(ショートステイ)10人、通所介護(デイサービス)10人の定員だ。他に居宅介護支援事業を行っていた。しかし、施設職員の減少のため入所者は41人となった。居宅介護支援事業は3月31日に廃止、ショートステイは現在見合わせをしている。現状をどう捉えているか。



会議録をご覧ください

インターネット中継映像や音声は公式記録ではありません。また「議会だより」は概要のみを掲載しています。公式記録は会議録をご覧ください。会議録は議会事務局、または中土佐町ホームページから議会のページに進むとご覧いただけます。



ホームページでは平成18年からの会議録をご覧ください

議会は、どなたでも傍聴できます。

3月定例会日程(予定)

- 3月6日(金) 行政報告
議案の提案理由説明ほか
- 3月16日(月) 一般質問
- 3月17日(火) 一般質問
- 3月19日(木) 議案等の採決ほか



※日程は変更になることがあります

お問い合わせなどはこちらへ

中土佐町議会事務局

〒789-1301 中土佐町久礼6602-2
TEL52-2410 FAX52-4850
E-mail gikaijimu@town.nakatoso.lg.jp

議会に対するご意見などを募集しています

ご意見やご感想など500字以内で、郵送でご投稿ください。

A 私たちは、こんなことをしています。

《各議員の出欠状況(令和元年10月～令和元年12月)》

日 付 ・ 会 議 等		議 員 名											
		黒原 昭一	山本 建生	山下 世仁子	岡 伊三男	本井 康介	松下 裕之	下元 道夫	佐竹 敏彦	窪田 和教	高橋 雄造	福永 守恭	中城 重則
10月4日	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）	／	○	／	／	／	／	○	／	○	○	／	／
10月9日	第13回高幡町村議会議長会親睦体育大会 （小草ふれあい公園パークゴルフ場）	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月11日	高知県町村議会議長会創立70周年記念式典及び講演会 （高知市／ザ クラウンパレス新阪急高知）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月17日 18日	議員個人研修（東京都）	／	／	／	／	／	○	／	○	／	／	／	／
10月18日	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）	／	○	／	／	／	／	○	／	○	○	／	／
10月21日	教育民生常任委員会（中土佐庁舎）	／	○	○	／	○	／	／	○	／	／	○	／
10月25日	議会運営委員会（中土佐庁舎）	○	／	／	／	○	／	○	○	／	／	／	△
	令和元年度トップセミナー （高知市／春野文化ホールピアステージ）	○	／	／	／	○	／	○	○	／	／	○	○
10月28日 29日	議員個人研修（東京都）	／	／	／	／	／	／	／	○	／	／	／	／
10月29日	産業建設常任委員会（大野見庁舎・町内）	／	／	／	○	○	／	○	○	／	○	／	／
11月6日	議員個人研修（大阪府）	／	○	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
11月7日	教育民生常任委員会（中土佐庁舎・町内）	／	○	○	／	○	／	／	○	／	／	○	／
11月11日	全員協議会（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月15日	総務常任委員会（中土佐庁舎・町内）	○	／	○	／	／	○	／	／	○	／	／	○
11月22日	教育民生常任委員会（中土佐庁舎）	／	○	○	／	○	／	／	○	／	／	○	／
11月27日	第9回議長杯パークゴルフ大会 （小草ふれあい公園パークゴルフ場）	○	△	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
11月29日	市町村議会広報研修会（自治会館）	／	○	／	／	／	／	○	／	○	○	／	／
12月4日	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）	／	○	／	／	／	／	○	／	○	○	／	／
12月5日	議会運営委員会（中土佐庁舎）	○	／	／	／	○	／	○	●	／	／	／	○
12月16日	議会運営委員会（中土佐庁舎）	○	／	／	／	○	／	○	○	／	／	／	○
12月20日	12月定例会＜1日目＞（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
	全員協議会（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
	産業建設常任委員会（中土佐庁舎）	／	／	／	○	○	／	○	○	／	○	／	／
	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）	／	○	／	／	／	／	○	／	○	○	／	／
12月23日	12月定例会＜2日目＞（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月24日	議会運営委員会（中土佐庁舎）	○	／	／	／	○	／	○	○	／	／	／	○
12月26日	12月定例会＜3日目＞（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○・・・出席 ●・・・欠席 △・・・一部欠席 /・・・所属委員等でない

※ここでは本会議、委員会、議会の議決による派遣、その他議長が参加・出席を要請した活動のみを掲載しています。

Q 議員は何をしゅうが？

《議長の主な活動状況（令和元年10月～令和元年12月）》

10月

- 2日 令和元年度四国四県町村長・議長大会(宇多津町／ホテルアネシス瀬戸大橋)
- 4日 入魂式(久礼八幡宮ほか)
- 5日 久礼保育所運動会
高知県町村議会議長会理事会
県選出国會議員と町村長・町村議会議長との意見交換会
高知県町村議会議長会臨時総会(高知市／自治会館)
- 6日 笹場地区民運動会
第33回土佐牛まるかじり大会(梶原町／梶原町総合庁舎前)
大野見保育所運動会【(代理)副議長】
- 8日 四国横断自動車道高知県建設促進期成会四国地方整備局へ要望(香川県／サポート合同庁舎)
- 11日 高知県町村議会議長会創立70周年記念パーティー(高知市／ザ クラウンパレス新阪急高知)
- 16日 第60回四国地区町村議会議長会研修会【正副議長】(徳島市／徳島グランヴィリオホテル)
- 19日 上ノ加江公民館起工式
- 20日 第14回大野見しんまいフェスタ(J A高知県大野見支所)
- 27日 第10回北地区ふれあい運動会(旧北小学校グラウンド)
高陵消防連合会パークゴルフ大会(小草ふれあい公園パークゴルフ場ほか)
- 29日 広島県尾道市議会視察受入(中土佐庁舎ほか)
- 31日 北海道松前町議会視察受入【議長・議会運営委員長・議会広報常任委員長】(中土佐庁舎)

11月

- 1日 高知県戦没者追悼式(高知市／文化プラザかるぼと)
- 2日 久礼中学校文化発表会
- 3日 上ノ加江地区民運動会(上ノ加江中学校)
- 5日 四国横断自動車道高知県建設促進期成会国土交通省・国会議員へ要望(東京都／国土交通省ほか)
- 8日 第71回関東高知県人大懇親会(東京都／東武ホテルレバント東京)
- 11日 中土佐町戦没者追悼式(町民交流会館多目的ホール)
- 12日 県選出国會議員と町村議会議長との意見交換会(東京都／ホテルルポール麹町)
- 13日 第63回全国町村議会議長会全国大会・創立70周年記念式典(東京都／NHKホール)
- 14日 第13回高幡町村議会議長会県外研修(埼玉県)

12月

- 2日 高知県町村議会議長会理事会(高知市／自治会館)
- 3日 久礼保育所起工式
令和元年第2回津野山養護老人ホーム組合議会定例会(須崎市／総合保健福祉センター)
令和元年第2回高陵特別養護老人ホーム組合議会定例会(須崎市／総合保健福祉センター)
高幡消防組合議会第144回定例会(須崎市／総合保健福祉センター)
- 14日 中土佐町PTA連合会講演会(町民交流会館多目的ホール)
- 25日 高幡西部養護老人ホーム組合議会(文化館)



四国地区町村議会議長会研修会での四国アイランドリーグ plus理事長 坂口裕昭氏の講演(10月16日)



全国町村議会議長会創立70周年記念式典での安倍首相のあいさつ(11月13日)

議長杯パークゴルフ大会で交流

11月27日（水）、第9回中土佐町議会議長杯パークゴルフ大会を小草ふれあい公園で開催し、31人の参加者が親睦を深めました。

今大会は川畑敏彦さんが2大会連続で優勝を飾りました。



開会式であいさつをする中城議長

優勝トロフィーを受け取る川畑さん

今大会の豪華？な賞品

入賞者の皆さん おめでとうございます

優勝 川畑 敏彦さん（上ノ加江）104

準優勝 畝原 敏男さん（笹 場）110

3 位 濱田 和正さん（久 礼）111

当月賞（11位） 前島 伸吉さん（矢 井 賀）121

当日賞（27位） 高橋 雄造議員（大 野 見）168

ブービー賞 岡 伊三男議員（上ノ加江）173

ホールインワン賞 岩本 憲次さん（久 礼）119

久武 雅顕さん（上ノ加江）119

岩崎 憲二さん（大 野 見）127

最高齢参加賞 中村 昭八さん（笹 場）123 〈86歳〉

（しまんとコース・くろしおコース 2R 36ホール）

広島県尾道市・北海道松前町議会の皆さんが 本町を視察

10月29日、広島県尾道市議会の2人の議員の方が津波避難タワーの視察に訪れました。議長と意見交換を行った後、総務課防災担当者が現地を案内し、本町の防災対策の説明を行いました。

同31日には北海道松前町の議会運営委員と議長、議会事務局の7人の皆さんが、議会改革と議会広報紙の研修に訪れました。議会運営委員長と議会広報常任委員長が本町議会の取り組みを説明した後、意見交換を行いました。



議会改革と議会広報紙の研修に訪れた北海道松前町の皆さん



今号では、J R土佐久礼駅を利用しての高校生、保護者からの自転車置き場整備の陳情を追跡しました。(No.51 P.4参照)

(陳情の経緯)

陳情の趣旨は、久礼駅には自転車置き場がなく、利用者は雨ざらしの自転車に乗って、腰をぬらして帰宅しているため、屋根付きの自転車置き場を整備してもらいたいというものです。

陳情に記載されている



J R土佐久礼駅への自転車置き場整備前(上)と整備後(左・左上)



状態であることは間違いなく、40台余りの自転車が無造作に置かれており、中土佐町の玄関口として、景観的にも問題がありました。このことから平成30年9月定例会で「採択」と決定していました。

その後の対応

平成31年3月定例会で、自転車置き場整備費200万円が計上され、令和元年11月に屋根付き自転車置き場が完成しました。これで通学、通勤の方々の悩みの一つが解消されました。

将来像を議論することが皆無では！ 町政発展のため議員は視野を広く！

声

平成29年度に実施した議会広報アンケートの中から、町民の皆さまの「声」をご紹介します。

★多様な人が議員になれるよう、議員定数増も検討すべきではないか。現状は、将来像を議論することが皆無のように思います。

★町政発展のため、もっと視野を広くもち、調査・研究や関係者との意見交換を積み重ねられることを期待します。

ご指摘のとおり、多様な方々が議員になれるようにすることは非常に大事なことです。このためには、本町議会だけでなく国を巻き込んで、女性や若者、会社員や障がい者の方など誰もが立候補しやすい仕組みを作ることが必要だと考えています。

調査・研究は、毎年議員全員での県外視察研修や委員会の調査で行っています。また議員個人も議会の議決により研修に派遣されています。関係者との意見交換は、議員出張懇談会を行っています。また、議会からの要請で行うと、各種の研修と同様に公費の支出を伴うため、議員個々の活動に頼らなければならぬのが現状です。公費を少しでも抑えられるよう工夫しながら行っていると思います。これらが町民の皆さんからご理解をいただくためには、より一層の議会・議員活動が必要であると感じています。



中城重則議長

(今号の表紙)



今年度の「議会だより」の表紙の写真は「地域で頑張る移住者たち」を取り上げています。今回は、室戸でキンメダイを釣る若き漁師です。

高知市出身の池田学さん(36歳)は、久礼出身の弥生さんと結婚し、現在上ノ加江に住んでいます。いわゆる嫁ターンです。

二人は高知のライブ会場で出会ったそうです。学さんは久礼に来るようになり、50年以上の漁師歴を持つ弥生さんのお父さんのキンメ漁の話聞くようになり、「漁師は大変だが夢があるやりがいのある仕事だ」と思うようになったそうです。

それまで勤めていた会社を辞め、漁師を目指すことを決意しました。

新規就漁の制度を活用し、義父である中島勉さん(74歳)に弟子入りし、2年間みっちり研修しました。そして、昨年の7月新船(4・9ト)を建造し、船名は愛息の名前をとり「皐丸」と命名しました。

現在は、皐丸を操り、朝3時に室戸岬漁港を出港、100メートルの糸を操るキンメダイの狩人です。

そんな姿を師匠である勉さんは「よう頑張ろう」と目を細めます。そして、学さんの漁師への道を優しく背中を押した人がいます。今は亡き、勉さんの奥さん久美子さんが「やったらえいやんか」と言っただけです。

弥生さん、皐くん(4歳)を中土佐町に残しての漁です。「お父さんの魚おいしい」久しぶりに帰った父を見て皐君が元気に声を上げました。

学さんの上気した顔に次の漁への意気込みを感じました。

池田学さんから

後に続くもののためにも、新規就漁者の研修制度や船を造るときの支援は今後も継続し充実して欲しい。



室戸岬漁港に帰港した皐丸



学さんの漁の間、上ノ加江の自宅を守る弥生さんと皐くん



議会広報常任委員の取材に応じてくれる池田さん(左)と中島さん(右)

つぶやき

今年は東京オリンピックの年である。昨年は、ラグビーワールドカップで日本中が大いに盛り上がった。世界の強靱な男たちのぶつかり合いとスピードに感動した。日本はワンチームの名のもと初のベスト8に進出した。

ノーサイドというラグビーの精神があるとはいえ、やはり勝負事は勝ってなんぼと感じた。勝って涙が出たが、南アフリカに負けたときには涙は出なかった。

我々議員はワンチームになることはない。スクラムを組むこともない。町が出してきた政策に考え方の違いがあるからだ。皆議員として意見はしっかり述べていると思う。しかし、賛成多数で決まったことには、その政策がうまくいくように協力していくという気持ちを忘れてはいけないと思う。

中土佐町議会議員 松下 裕之

中土佐町議会広報常任委員会

委員長	下元 道夫
副委員長	窪田 和教
委員	山本 建生
	高橋 雄造